

運輸安全マネジメントの取り組み 貨物部門

【2020年度（2020年4月1日～2021年3月31日）】

2020年4月20日 有限会社 クリーンサービス本社
代表取締役 持田 隆志

●事故防止のための安全方針

- ・有限会社クリーンサービス経営者は輸送の安全の確保が、事業経営の根幹であることを深く認識し、輸送の安全の確保に積極的且つ主導的に役割を果たす。また経営者と乗務員、経営者と運行管理者・運行管理者と乗務員の連携を密にし、現場の声に真摯に耳を傾け、乗務員が仕事をしやすい場を作り、輸送の安全の確保を励行する

「CLEAN」なサービスを！

- C・・・車を大切にする（清掃・点検はもとより、車の異常は早い段階で報告し、修繕にかける）
- L・・・リスクを無くす（社内の風通しを良くし、一人で抱え込まず、思っていることを誰かに伝えられる環境を作り、業務を楽しめるような環境作りをする。また運行管理者や役員で話し合い、乗務員の運転技術や健康状態に応じて車の配車等を行い、運管は運行する立場になり、事前の準備をしっかりと、乗務員が安心して運転業務が出来る様にしていく）
- E・・・笑顔で接客（笑顔はいい空気を呼び込みます。役員自ら笑顔で皆さんを送り迎えます。）
- A・・・安心・安全運転（大きな事故を起こしたら、ここにいる皆が仕事を失うことを社員全員が肝に銘じ、運行に取り組む）
- N・・・なめらか運転（乗務員はお客様に負担をかけない運転。急いでいても急の付く運転はしない）

- 社内への周知方法・・・社内掲示・朝の点呼時に乗務員へ周知・年度初めの安全研修会時、方針説明

●安全方針にもとづく目標

目 標	重大事故：0件	有責事故：0件	他責事故：0件	人身事故0件	車内人身事故0件	物損事故0件
	軽微事故：1件	有責事故：0件	他責事故：0件	人身事故0件	車内人身事故0件	物損事故1件

●目標達成のための計画

- ・全従業員運転経歴ゼロ事故・ゼロ違反
- ・日常点検研修
- ・65歳以上ドライバー脳ドック受診
- ・非常時についての訓練
- ・運転から見えるヒヤリハットの収集と共通認識
- ・運行前後の回送時の安全にかかわる声掛け
- ・凍結時や積雪時の確実なチェーン掛け

●安全に関する情報交換方法

- ・各会議から持ち帰った情報は、回覧等で周知し、重要項目についてはリーダー会から役員会へ又は各部門へ投げかけ周知を図る
- ・各機関からの情報等は、点呼時での情報共有や掲示・回覧等幅広げ、情報を共有できるようにする

●安全に関する反省事項

・今年度は残念なことに1件の物損事故が発生した。この件は道路を徐行中に、右側を走っていた自転車が急に進路を変え左側へ渡ろうとし、道路へ寄ってきたため、接触したものの。人間も自転車も弊社の車も幸いにも何事もなかった事案だが、弊社としては自転車に近くに車がいることをまずは一旦停止し、しっかりアピールすれば、防げた事故のように思う。

●反省事項に対する改善方法

- ・世間では、収集車の火事等起きているため、非常時の実務訓練が必要に感じた
- ・ヒヤリハットの収集と危険地区の共通理解を図る
- ・実際の事故のドライブレコーダーを通してどうしたら防げたのかを話し合い事案を共有し、事故防止に役立てる

●安全に関する目標達成状況

2019年度目標	結 果	内 容
重 大 事 故 0件	0件 目標達成！	有責事故0件 他責事故0件 人身事故0件 車内人身事故0件 物損事故0件
軽 微 事 故 0件	0件 目標達成！	有責事故0件 他責事故0件 人身事故0件 車内人身事故0件 物損事故0件

●自動車事故報告規則第2条に規定する事故に関する情報

2019年度実績	事故発生件数	0件	※自動車事故報告規則(H15.9.26改正国土交通省令第95号)第2条に定められた自動車事故(車両の転覆・転落・火災の発生、死者・重傷者・踏切事故の発生、積載物の飛散・漏えい、運転者の疾病による運行停止、制動装置・かじ取装置・車軸等の故障による運行停止など)
	事故の種類	—	
	衝突の状態	—	
	行政処分等	なし	